



宮城県委託 地域高度デジタル人材育成研修

受講料無料**業務・企画系研修 研修参加者募集(追加募集)のご案内**

デジタルによる業務変革や生産性向上などを旨とする企業全般を対象

業務・企画系 = 業務の目線(DXの"X")<内容>実業務課題をテーマとし、その解決に直結する「**実践型・課題解決型**」<運営>レビューや相互評価が主体、「**他社との交流**」を通じ多面的な視点に触れる。<頻度>業務との両立がしやすい「週1回・3時間」、業務都合による**欠席も柔軟に対応**。

■主催:一般社団法人宮城県情報サービス産業協会(宮城県委託事業)

■対象:ITユーザー/ベンダーを問わず幅広い企業を対象(業種・業態問わず)

※宮城県内に拠点を有し事業を行っている企業であることが企業としての参加要件となります。

(MISA会員の有無、企業規模、本社所在地、実際の参加者の居住地や勤務地自体は問いません)

■会場:オンライン研修(Zoom/Slack利用) ■開催時間:各日14:00~17:00(3h/回)

但し参加者相互の情報交換や交流を図るため一部日程は仙台市中心部にて集合研修で開催

■本案内で募集する研修(秋季追加募集):下記2科目

科目名(定員:各8社)	時間数	計画日程(各日14:00~17:00)、課外実習の内容
【BA-2】 企画系業務基礎素養研修 (環境分析編)	3h×4回(12h) +課外実習	11/19(火)、11/26(火)、12/10(火)、 12/20(金)(集合) 【課外】SWOT分析を通じ“自社(自部門)の見える化”を実践
【X-2】 DX推進支援等研修 (下期開催分)	3h×6回(18h) +課外実習	(知識編)1/17(金)、1/24(金)、 2/4(火)(集合) (実践編)2/13(木)、2/27(木)、 3/7(木)(集合) 【課外】自社・自部門または支援先のDX推進企画案を策定

研修参加にあたっての予備知識は不要(IT分野の知識や技術的な経験等は問わず)

直接部門だけでなく、総務、人事などの事務・間接部門(バックオフィス)の方にも参加いただけます。

■受講料:無料(宮城県委託事業のため) ※PC及び回線などの遠隔受講に必要な環境や機材は各社準備

■募集人数(追加募集):各研修共に若干社/1社からの複数名以上の参加可

※各研修共に上期募集分で大部分の定員は埋まっております。今回は若干社のみ追加募集となります。

※可能であれば1社あたり複数名での参加を推奨します。課外実習の負担軽減や欠席時の相互フォローもありますが、何よりも**本研修は「創造力×想像力」を働かせる要素が強いため、社員同士でのブレインストーミングの環境があると望ましい**という理由もあります(もちろんお一人での参加も可能)。

■お申込み:別紙の申込書に必要事項を記入の上、MISA事務局宛にお申込みください。

→各研修共に申込締切は設定せず各研修の開催直前まで受付しますが、予定人数に達し次第予告なく募集を締め切ります。

<お申込み・お問合せ先>

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会(MISA) 事務局

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台ビル 5F

TEL:022-217-3023 E-mail:misa@misa.or.jp



<別紙>業務・企画系 各研修の内容

【BA-2】企画系業務基礎素養(環境分析編) オンライン開催 (最終日は集合開催)

- ・ 自社を多面的に見つめ直すことで、**自社に対する新たな見方を見出したい**
- ・ **自社の“強み”や“特徴”**を客観的に見出し表現できるようになりたい
- ・ **自社のオリジナルな魅力を語り、人材採用力の強化にもつなげたい**

過年度から高い評価をいただいている「ビジネス変革人材育成」研修の最初に行う「統合環境分析(SWOT分析) (※)」だけを取り出し短期集中型で行う研修です。SWOT分析は企画系業務の基本中の基本であり、実際に手を動かす中での自社分析力の向上、**自社を取り巻く“物の見方の変革”**を目指します。

回	計画日程	予定内容	課外実習・【アウトプット】
1	11月19日(火) 14:00~17:00 (3h) 【オンライン】	■企業戦略策定プロセスと統合環境分析(SWOT分析)について(講義) ■SWOT分析/クロスSWOT分析について(講義)	【SWOT分析】 紙1枚での「強み、弱み、機会、脅威」の洗い出し
2	11月26日(火) 14:00~17:00 (3h) 【オンライン】	□SWOT分析のレビュー(相互評価) ■SWOT分析結果の生かし方(講義) ・自社紹介文への反映、採用活動での活用など	【クロスSWOT分析】 SWOT分析を基にしたクロスSWOTの検討
3	12月10日(火) 14:00~17:00 (3h) 【オンライン】	□SWOT分析/クロスSWOT分析のレビュー(相互評価) □各者の目的に応じた演習成果の活用(相互議論)	【SWOT/クロスSWOT分析の修正】 + (任意)「自社紹介文の策定」などのSWOT演習成果を生かした関連演習
4	12月20日(金) 14:00~17:00 (3h) 【集合研修】	■成果発表会 ・課外実習の内容について、発表と相互評価を行います。 ※各社都合等により集合参加が難しい場合はオンライン参加でも可	【成果発表資料】 課外実習の成果を発表(SWOT分析/任意資料) ※発表会終了後、懇親会(任意参加)の開催も計画

○課外実習:原則として自社のSWOT分析を行っていただきます。

- ・ 分析自体は課外実習とし研修では相互評価やレビューを中心に運営します。
- ・ SWOT分析は「知識や手法として知っている」と、「実際に策定ができる」ということは全く別物です。
⇒「自ら実際に手を汚してSWOTの策定を試み」、「策定の難しさやポイントを実体験し」、「異なる企業からの参加者相互で評価し合う」プロセスを体験できること自体が本研修最大の生きた学びになります。

○期待アウトプット:各者のSWOT分析、クロスSWOT分析 など

⇒必要に応じSWOT分析結果を生かした「自社紹介文の作り直し」などの関連演習にもつなげます。

(※)SWOT分析(統合環境分析):

企業を取り巻く内外環境を強み、弱み、機会、脅威の4つで分析する経営フレームワーク

●本研修の内容は、会社としての「人材採用力の強化」にもつながります！

会社紹介の際に“●●の会社です”だけではどの会社も同じに見えてしまうことが多いです

本研修で行う自社の強み/弱みの分析は会社独自のオリジナルな魅力を語ることに直結します。

【X-2】DX推進支援等研修(下期開催分)オンライン開催 (3日目と最終日は集合開催)

「既存業務のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進」を意図した実践型研修



＜ “DX” についてのよくある疑問 ＞

- ・ DX とデジタル化は何が違うのか？
- ・ DX を推進するためには何に取り組めばいいのか？
- ・ DX 推進人材を育成するには何を教育すればいいのか？

↓

「“変革”などの言葉に惑わされることなく」、「AI/IoTなどの“技術ありき”ではなく」本来求められる「業務の目線から追ったDX」について、自社（または支援先）における実業務の課題発掘や解決策の立案を通じた基礎素養の醸成を目指します。

【DX人材の基礎素養 = “何に” 気づいて “どのように” デジタル活用を推進するのか】

■対象: 社内のDX推進人材、社外へのDX支援人材及びそれらの候補者など

	計画日程	予定内容	課外実習・【アウトプット】
知識編	1/17(金) 14:00~17:00 (3h) 【オンライン】	■DXを取り巻く背景とDXリテラシー標準 (講義+ディスカッション) ・経済産業省のデジタルスキル標準(DXリテラシー標準/推進スキル標準)を基にしつつ、実務目線に即した事例等を交えながら“紐解く”ことでDXの捉え方を具体的に理解します。	(事前アンケート) ⇒題材とするDX・業務改善テーマと推進主体に関するアンケートを実施
	1/24(金) 14:00~17:00 (3h) 【オンライン】	・研修内では参加者同士のミニワークも交え、相互交流の中からのお互いの気づきを得られる研修として展開します。 <input type="checkbox"/> 業務課題テーマの検討	※アンケート回答→各社毎の演習目標の検討
	2/4(火) 14:00~17:00 (3h) 【集合研修】	(参加者の状況の共有と演習の方向性の検討) ・参加者各自の状況について、参加者同士での情報交換とディスカッションを行い、業務課題テーマとDX推進の方向性を見出しを行います。	【業務課題テーマ】 業務課題テーマ(概要骨子)の企画検討
実践編	2/13(木) 14:00~17:00 (3h) 【オンライン】	<input type="checkbox"/> 業務課題テーマのレビュー(相互評価) ■デジタル技術の活用方策や期待成果の検討 ・課外実習で検討したテーマについて全体レビュー及び相互レビューを行います。	【DX推進企画概要】 →業務課題の深掘り、デジタル化による業務改善計画等の策定
	2/27(木) 14:00~17:00 (3h) 【オンライン】	■企画案の中間評価 ・デジタル化による業務改善計画の評価検討をします。 (研修の中では予算の制約はあえて設けない)	【同 (修正案)】 →事前レビューや研修内での相互レビューの結果を踏まえた計画の修正
	3/7(金) 14:00~17:00 (3h) 【集合研修】	■成果発表会 ・研修の最終成果としてのDX推進企画案の内容について、発表と評価を行います。	【成果発表資料】 (紙1枚~提案書レベルまで様々を想定) ※発表会終了後、懇親会(任意参加)の開催も予定

※各コースの開催計画日程は予定です。講師や各参加者の業務都合を踏まえ、変更させていただく場合があります。
 ※集合研修開催日において、各社都合等により集合参加が難しい場合はオンライン参加でも可(→ハイブリッド開催で運営します)



<参考>【X-1】DX推進支援等研修（上期開催分）参加者の声（2024年7月～8月に開催）
（原文のまま抜粋掲載／ポイントとなる点を青字下線）

- ・ 一方的に聞くセミナーではなく、「参加型」に最初は抵抗を感じていましたが、質疑応答など実際の参加者のIT・デジタルリテラシーを確認しながら研修が進んでいくこと、また、他社の案件などを知ることができ、「うちの会社もこの問題あるよな」という共感と、解決方法を一緒に考えていけることが、とても良かったです。
- ・ DXが進んでいる会社、まだほとんど紙の会社と、いろいろな会社の「うち是这样のよ」が自社で検討していた内容の実際の稼働状況として聞けたことは、これからの選択肢を増やしてもらえたと思います。
- ・ DXについては言葉が独り歩きし、難しく大変な改革のようなイメージを持っている人も多いと思いますが、研修全体で身近な問題を含めて課題を抽出し、スキーム等から根本的な解決方法を考えるということを学び、講師の方々にはDXの内容に限らず、資料の作成について等、様々な指導をいただきました。
- ・ とても貴重な経験をさせて頂きました。どうもありがとうございました。他社の生々しい本当の困りごとを聞ける機会はないので、他と比べての自分たちの現状を客観的に感じれたことも大きな収穫であり、良い刺激を受けることができました。
- ・ 今回の研修でDXについて身近に感じることができ、活用できることもたくさんあると思いました。今自分が抱えている業務を効率化する為にも研修で得た知識などを活かしていきたいと思います。

各研修について(重要)

- ・ 各企業の多忙な中核人材の参加を想定しているため、**全ての研修において業務都合等による遅参・欠席は柔軟に対応**します(歯抜け出席となっても大丈夫です)。研修の目的をアウトプットの形成(課外実習)に置くため、研修出席と研修成果は必ずしも直結しません。
- ・ 貴重な研修の時間は「ディスカッションに全振り」とし、各自の演習は課外実習を中心に構成します。課外実習の分量は一律ではなく各自の“かけられる時間”に配慮し個別に設定します。

■研修受講環境について

オンライン研修は Zoom/Slack を利用します。本研修は双方向のディスカッション主体型研修であるため、研修内で参加者に発言いただく機会も多々あります。参加にあたっては社内会議室やご自宅等の専用の受講場所からの参加を原則とし、共用オフィスからのヘッドセットを用いた参加は原則不可とします。

1社から複数以上のメンバーで参加の場合は、社内会議室に集まっての参加を推奨します(社内会議室をサテライト拠点とみなして研修を運営)。ただし在宅勤務を推奨している会社はこの限りではありません。

■守秘義務・知財の扱い

各社アウトプットの相互評価を行う関係上、研修では相互に各社の情報を共有することが必須となりますので、あらかじめその旨をご理解の上で参加ください(必要に応じて固有名詞などを匿名化していただくことは可)。また、研修内で相互に知り得た情報の二次利用は不可である旨をご理解いただくことが参加条件となります。

■講師(ファシリテーター)

- ・ 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会(MISA) 事務局 企画プロデューサー 庄子 栄光
(宮城県「みやぎ認定 IT 商品」派遣専門家)
- ・ 株式会社仙台情報サービス 代表取締役 佐藤 元
(宮城県「みやぎ認定 IT 商品」派遣専門家、宮城県中小企業等デジタル化支援事業補助金アドバイザー)

⇒本研修は各企業を取り巻く「環境や課題そのもの掘り下げ」から行う点が特色です。これまで気が付かなかった自社の強みや新たな方向性を見出し、これらに気づきを持つことが研修の大きな狙いの一つです。この手の研修はいわゆる“課題ありき”でその解決策を考えることがミッションである経営の専門家に依頼するのが難しいため、MISA事務局の本委託事業担当者の直営研修とし、実務的な観点から研修を展開しております。



一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
業務・企画系研修 参加申込書（追加募集分）

※E-mailにてお申込みの場合は各項目を記載の上、WordまたはPDFファイルの添付により送信してください。
 ※送信の際のパスワードの設定などは各社のポリシーに委ねます。

宛先：MISA 事務局 FAX：022-217-3055 E-mail：misa@misa.or.jp

研修窓口担当者の情報

申込日 (本書送付日)	2024年 月 日		
会社名			
研修窓口担当者 所属・役職・氏名			
連絡先 TEL		連絡先 E-mail	

※窓口担当者名、連絡先は研修の窓口担当者（今回の受講申込に関する担当者）を記入してください。
 研修受講決定通知、研修受講案内はすべて記載の窓口ご担当者宛にお送りいたします。

参加者の情報（参加者名）

	参加者 1	参加者 2
フリガナ		
氏名		
参加コース 該当するもの に☑	<input type="checkbox"/> 【BA-2】 企画系基礎（環境分析） <input type="checkbox"/> 【X-2】 DX 推進支援等研修(下期)	<input type="checkbox"/> 【BA-2】 企画系基礎（環境分析） <input type="checkbox"/> 【X-2】 DX 推進支援等研修(下期)
特記事項 要望事項 (あれば)		

先着順に定員（各コース最大8社程度）に達した場合は予告なく締切いたします。

- ・ **受講料は無料で開催いたします(宮城県委託事業のため)。**
- ・ 各研修共に講師独自資料(データ配布)で行います。市販本の別途購入の必要はありません。
- ・ 1社から3名以上でお申込の場合は複数枚に分けてお申込ください。各研修共に1社当たりの人数制限は原則として設定いたしません。大人数となる場合は別途調整をお願いする場合があります。
- ・ 申込受付後、受理通知を速やかにメールにて行います。
- ・ 研修参加に係る詳細のご案内につきましては、メールにてお申込企業に対して別途ご案内します。
- ・ ご記入いただいた個人情報は宮城県委託事業としての範囲内で使用いたします。
- ・ 各研修の開催内容や開催日程は「予定」です。都合により変更等を行う可能性があります。